

**製品名: RAB11FIP1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81507**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                     |
| 宿主     | ねずみ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC,ELISA,FC                              |
| 反応性    | ヒト、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | Mouse IgG1                                       |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 1mg/ml   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体                      |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400 |
| 分子量  | 137.2kDa  |

**抗原情報**

|              |  |
|--------------|--|
| 遺伝子名         | RAB11FIP1  |
| 別名           | RCP; NOEL1A; rab11-FIP1                          |
| 遺伝子 ID       | 80223.0  |
| SwissProt ID | Q6WKZ4   |
| 免疫原          | 大腸菌で発現したヒト RAB11FIP1 (AA: 130-271) の精製された組み換え断片。 |

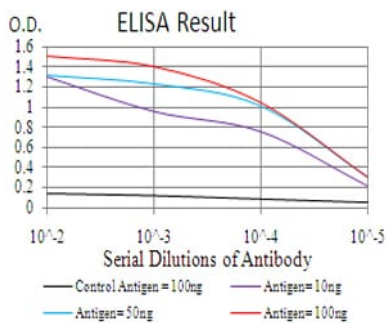
**背景**

この遺伝子は、Rab11 ファミリー相互作用タンパク質 (Rab11-FIP) の1つをコードしており、Rab11 を介した小胞のリサイクリングに関与しています。コードされているタンパク質は、エンドサイトーシスによる選別、インテグリンサブユニットや上皮成長因子

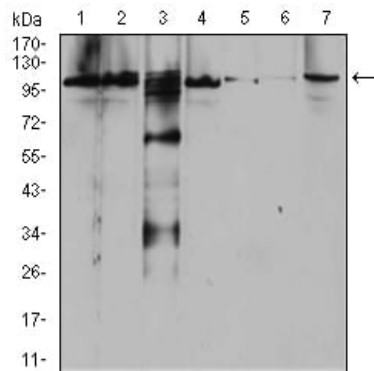
受容体 (EGFR) などのタンパク質の輸送、リサイクリングエンドソームとトランスゴルジ体ネットワーク間の輸送に関与している可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。X染色体上には偽遺伝子が存在します。

## 研究分野

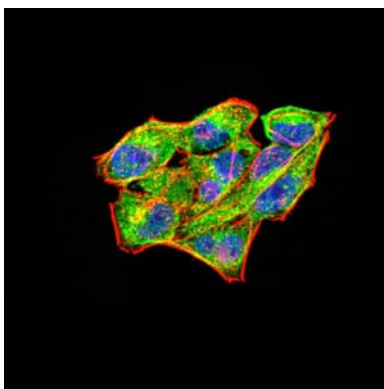
## 画像データ



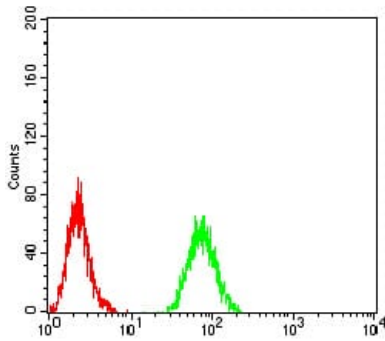
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



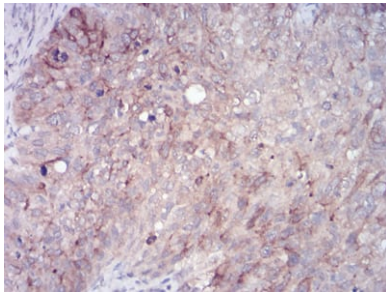
RAB11FIP1 マウス mAb を用いた Raji (1)、SW620 (2)、A431 (3)、SW480 (4)、HepG2 (5)、HeLa (6)、および NIH3T3 (7) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。



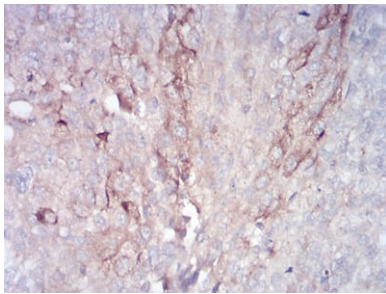
RAB11FIP1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



RAB11FIP1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。



RAB11FIP1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト子宮頸癌組織の免疫組織化学分析。



RAB11FIP1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。